

利根川河口堰で管理開始後の最高水位を記録！ (平成27年9月9日～21日：全門全開操作)

9月9日に愛知県知多半島付近に上陸した台風18号は、東海地方から北陸地方を横断して日本海に抜けましたが、折から本州南岸に停滞していた秋雨前線を刺激したこともあり、広い範囲に大雨をもたらしました。このため、利根川河口堰では9日未明より今年度7回目となる**全門全開操作へ移行**しました。

台風18号が日本海へ抜けて温帯低気圧に変わった後も、この低気圧に吹き込む南風と日本の東海上にあった台風17号に吹き込む東風とがぶつかって「線状降水帯」を形成して関東地方に長時間にわたる豪雨をもたらし、利根川河口堰の流入量も9日夕方より急激に増加し始めました。

翌10日には利根川河口堰上流の利根川支川である鬼怒川で堤防が決壊するなど大きな被害が発生する豪雨となり、結果的に利根川河口堰の**流入量**（利根川河口堰から58キロメートル上流の布川地点流量より算出）は、10日午後8時頃にピークとなる**毎秒約6,660立方メートル**に達しました。これは、昭和46年に利根川河口堰の管理を開始して以来、**過去45年間で5番目に多い記録**となります。

流入量増加に伴い、河川水位も大きく上昇しました。利根川河口堰の上流500メートル地点の**水位は**、翌11日午前4時頃にピークとなる**Y. P. +3.08メートル**まで上昇し、**過去45年間で最高を記録**しました。通常時、利根川河口堰の上流水位はY. P. +0.8～+1.3メートルの範囲で運用していることから、**約2メートルの水位上昇**が見られたこととなります。

利根川河口堰では、自然の河川と同じ状態にして洪水を安全に流下させるため、9月21日夜まで、全門全開操作を実施しました。全門全開操作の継続日数は12日間に及び、平成27年で最も長くなりました。

※利根川河口堰の現在の管理状況は、次のウェブサイトから確認できます。

（パソコン・スマートフォンから）

<http://homepage2.nifty.com/~tone/G1000001.htm>

（携帯電話から）

<http://homepage2.nifty.com/~tone/imode/index.html>

<河口堰の上流側から撮影>



平成 27 年 9 月 10 日 (木) 11 : 10 撮影

堰流入量 : 毎秒約 5,900 立方メートル

堰上流水位 : Y. P. +2.14 メートル



平成 27 年 9 月 10 日 (木) 17 : 00 撮影

堰流入量 : 毎秒約 6,600 立方メートル

堰上流水位 : Y. P. +2.80 メートル

<河口堰の下流側から撮影>



平成 27 年 9 月 10 日 (木) 10 : 50 撮影

堰流入量 : 毎秒約 5,800 立方メートル

堰下流水位 : Y. P. +2.17 メートル



平成 27 年 9 月 10 日 (木) 16 : 40 撮影

堰流入量 : 毎秒約 6,600 立方メートル

堰下流水位 : Y. P. +2.86 メートル